

2025年度 電設協 BIM WGの活動報告

～令和7年度BIM取組み～

2026年3月

一般社団法人 日本電設工業協会

技術・安全委員会 BIM検討・導入検討WG

はじめに

一般社団法人 日本電設工業協会では、技術・安全委員会の下に2020年度から「BIM導入・活用検討WG」を設けています。

2020年度活動として、BIMベンダーや機器メーカーのヒアリングを行い、我々電設業界からの要望をベンダーやメーカーへお伝えし、改善の促進を図り、現在も継続しています。

また、国土交通省 建築BIM推進会議等の報告を通して、他業種を含む関連情報の共有と業界意見の反映を進めています。

2021年以降は、「BIM導入・活用検討WG」から会員各社に向けた情報発信を行っています。

2023年度から2025年度の経緯

- BIM実務者との意見交換会の実施、課題事項の洗い出し：2022年度：各社のBIM使用実務者(施工)との意見交換会を行い、改善すべき事項の洗い出しを行いました。
- 盤リストの標準化の検討：2023年度は、「盤リスト（配電盤、動力盤、分電盤）については、BIMソフトとの連携を前提に電設工業協会としての標準化を図りたいとの意見が出ました。
- 2024・2025年度は
盤リスト（配電盤、動力盤、分電盤）の作成と更新を行いました
BIMベンダーヒアリング
機器メーカーのヒアリングを行いました。

2025年度の取組

○BIMライブラリ技術研究組合（BLCJ）の動向ヒアリングと同組合との意見交換会を実施

○標準化TFの動向ヒアリング

○盤リストのバージョンアップと展開

[一般社団法人日本電設工業協会ホームページ](#)

[トップページ](#) > [主な調査研究事業](#) > 3.技術・安全に関する取組み

1) BIMの積極的な導入・活用拡大提案について（盤リスト標準書式）

建築分野における急速なBIMの普及への対応、諸課題の抽出等を継続し、電気設備業界におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の一環として、BIMの積極的な導入・活用の検討に取り組んでいます。BIMソフトとの連携を前提に「盤リスト（配電盤、動力盤、分電盤）」について標準書式を作成し、業界での活用拡大と今後のBIMソフトでの出力機能追加を期待するものです。

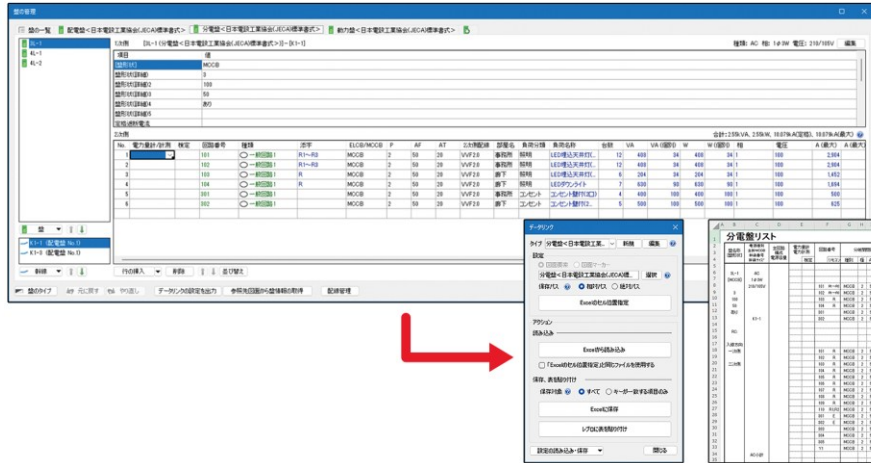
・ 関連資料・報告書

▶ 盤リスト標準書式（配電盤、動力盤、分電盤）A1.02（PDF）

▶ 盤リスト標準書式（配電盤、動力盤、分電盤）A1.02（Excel）

2025年度の取組

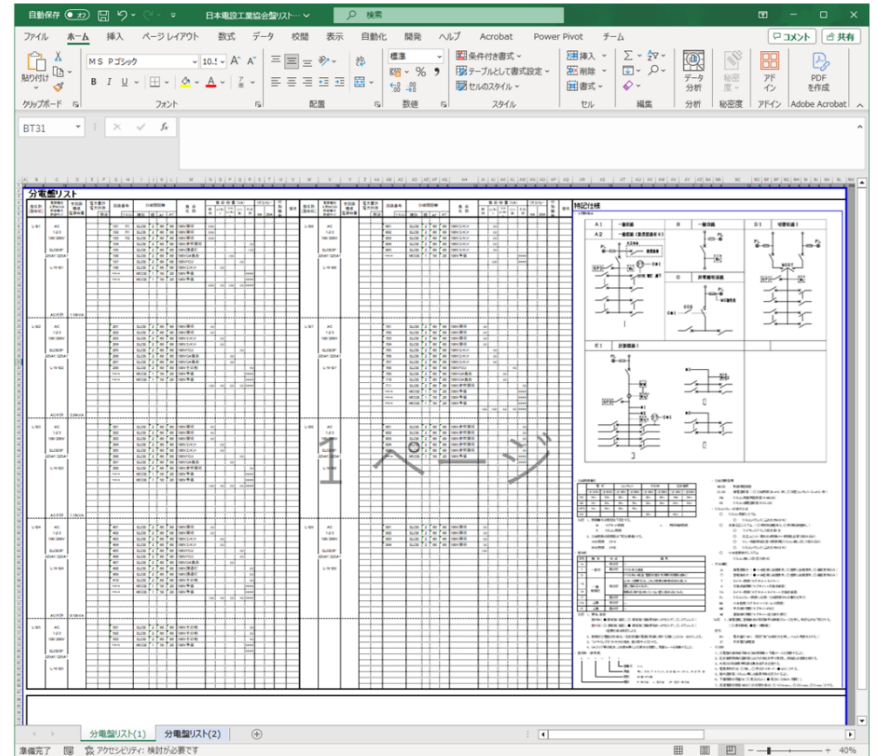
○ BIMベンダーヒアリングと標準書式



【BIMベンダー ホームページより抜粋】

【BIMベンダー ホームページより抜粋】

○ 盤メーカー ヒアリング



2026年度以降の取組

【検討中の取組案】

建築確認申請におけるBIM図面審査の本格導入や将来的なBIMデータ審査への移行動向を踏まえ、建築分野におけるBIM活用の高度化・標準化に継続して対応するとともに、電気設備業界としてBIMデータを前提とした業務プロセスの構築・施工品質の向上・人材育成を推進し、DXの一層の加速、生産性向上および働き方改革の更なる深化に努める。

- ① 2025年度に策定した盤リストの活用とその見直し
- ② 盤リスト以外の標準化を検討
- ③ 電気機器メーカーへのBIM対応動向調査
- ④ 業務プロセスやデータの標準化
 - 施工プロセスにおけるBIM標準化（BIMソフトや共通データ環境（CDE）クラウドとの連携）に向けた活動
 - 標準化によるBIMの普及・展開の加速に向けた活動
 - ファミリー（部品データ）・テンプレート（標準設定）・教育コンテンツの共同整備
 - 分科会活動（ファミリー、テンプレート、ワークフロー、アドイン検討、教育体制検討）
 - 外部団体（電気関連諸団体、設備BIM連絡会など）との連携活動